

調査名： プルトニウム 238、239+240、241 の土壌濃度マップの精緻化

代表研究者：池内 嘉宏(機関名：(財)日本分析センター)

1. 調査の目的

- 福島第一原子力発電所の事故に伴い放出されたプルトニウム 238、239+240 の分布状況を詳細に把握するため、福島第一発電所の北西方向及び放射性セシウムの沈着量の大きい箇所、100 試料を採取する。
- また、その 100 試料について、プルトニウム 241 の分析も行い、プルトニウム 238、239+240 とプルトニウム 241 の沈着量の比率を求め、この比率からプルトニウム 241 を分析していない箇所のプルトニウム 241 の沈着量を推定できるか検討する。

2. 調査内容(詳細は別紙参照)

- 100 箇所ですらを 200 グラム程度採取し、均質とし、100 グラムについて、プルトニウム 238、239+240 の放射化学分析を行い、シリコン半導体検出器を用いて、アルファ線を測定する。
- 残り100 グラムについて、プルトニウム 241 の放射化学分析を行い、液体シンチレーションカウンタを用いて、ベータ線を測定する。

3. 調査地点

- 調査箇所は図1のとおり。(調査箇所については現在、各市町村等と調整中)

4. 調査スケジュール(予定)

- 8 月 27 日の週に、100 試料の土壌を採取する。(土壌採取後、直ちに分析を開始)

